

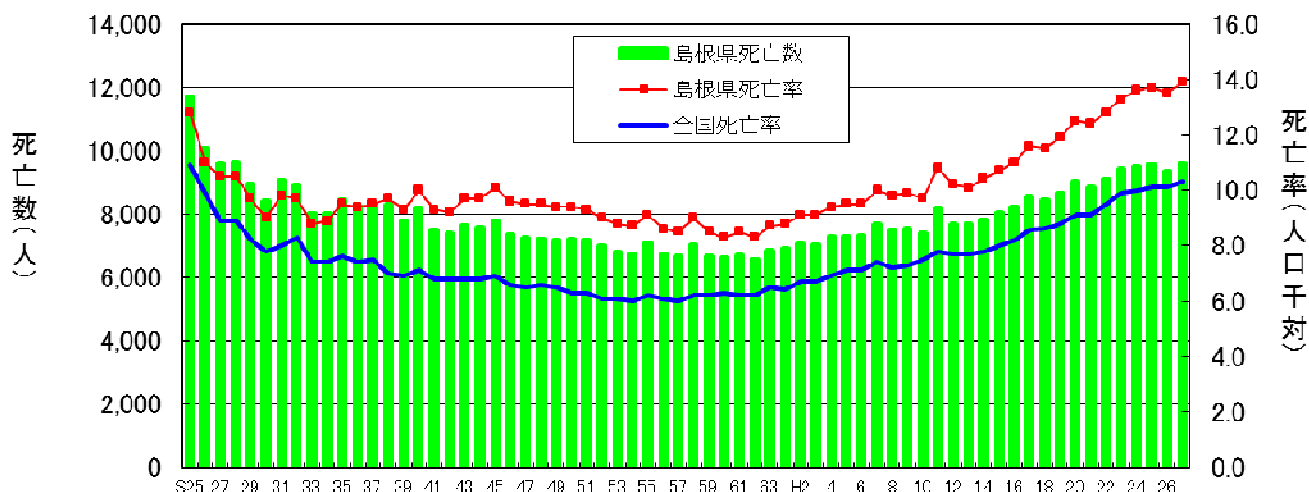
3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 27 年の死亡数は 9,604 人で、前年の 9,369 人より 235 人増加し、死亡率（人口千対）は 13.9 で、前年の 13.5 より 0.4 増加した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下したが昭和 30 年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和 63 年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、その後も上昇傾向を続けている（図 4）。

図 4 死亡数・死亡率の年次推移



年齢階級別に死亡率（人口 10 万対）をみると、5～19 歳、25～29 歳、50～54 歳、60～74 歳、80 歳以上の各階級が前年より増加した。特に 80 歳以上の増加が著しい。

死亡率性比（男性の死亡率／女性の死亡率×100）を年齢階級別にみると、0～14 歳の各階級を除くすべての年齢階級において 100 以上となっており、男性の死亡率が高いことを示している（表 4）。

表4 年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口10万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	平成27年	平成26年	対前年増減	平成27年	平成26年	対前年増減	
総数	9,604	9,369	235	1,394.0	1,344.2	49.8	104.1
0～4	12	17	△ 5	44.5	60.7	△ 16.2	94.0
5～9	1	0	1	3.5	-	3.5	-
10～14	2	2	0	6.5	6.5	0.0	95.5
15～19	12	4	8	38.3	12.5	25.8	125.3
20～24	11	16	△ 5	44.0	59.3	△ 15.3	412.8
25～29	16	11	5	56.3	40.7	15.6	156.6
30～34	23	27	△ 4	68.6	77.1	△ 8.5	216.9
35～39	18	29	△ 11	45.6	70.7	△ 25.1	242.6
40～44	43	47	△ 4	97.3	106.8	△ 9.5	160.5
45～49	58	59	△ 1	151.2	155.3	△ 4.1	216.1
50～54	98	80	18	244.8	195.1	49.7	228.9
55～59	150	206	△ 56	334.5	447.8	△ 113.3	252.3
60～64	334	348	△ 14	637.4	632.7	4.7	256.8
65～69	552	503	49	935.0	914.5	20.5	277.9
70～74	607	593	14	1,400.5	1,347.7	52.8	244.2
75～79	891	945	△ 54	2,246.7	2,304.9	△ 58.2	261.8
80～	6,775	6,482	293	8,156.0	7,904.9	251.1	139.1

注：死亡率性比＝男性の死亡率／女性の死亡率×100

平成27年は年齢不詳が1人いるため、死亡総数と年齢階級別死亡数の合計は一致しない

(2) 死因

①死因順位

平成27年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,529人（人口10万対死亡率367.1）、第2位は心疾患で1,392人（202.0）、第3位は老衰で918人（133.2）となっている（表5）。なお、全国の死因は、第1位が悪性新生物、第2位が心疾患、第3位が肺炎となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物による死亡率は上昇を続け、昭和59年以降、死亡原因の第1位となった。心疾患の死亡率は、平成12年に死亡原因第2位となって以降上昇傾向にある。脳血管疾患の死亡率は、平成12年以降概ね横ばいで推移している。老衰の死亡率は、ほぼ横ばいに推移していたが、平成19年以降上昇し続けている（図5）。

また、死因別の死亡率を都道府県ごとに見た場合、老衰（全国第1位）、アルツハイマー病（第2位）、慢性閉塞性肺疾患（COPD）（第3位）、悪性新生物と自

殺（第4位）が高い水準を示している。

図5 主要死因の死亡率の年次推移

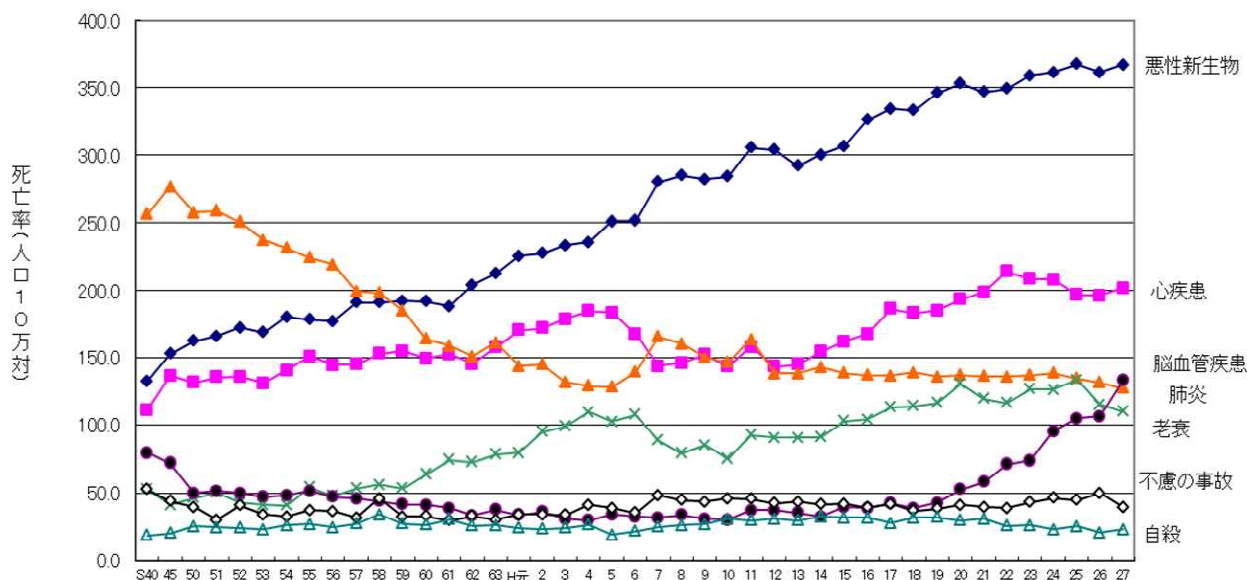


表5 死亡数・死亡率（人口10万対）・死因順位；性別

死 因	平成 27 年									平成 26 年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物	1	2,529	367.1	1	1,536	464.3	1	993	277.2	1	2,503	361.7
心疾患(高血圧性を除く)	2	1,392	202.0	2	586	177.2	2	806	225.0	2	1,359	196.5
老衰	3	918	133.2	5	225	68.0	3	693	193.5	5	736	106.4
脳血管疾患	4	879	127.6	4	375	113.4	4	504	140.7	3	909	131.4
肺炎	5	758	110.0	3	402	121.5	5	356	99.4	4	797	115.2
不慮の事故	6	273	39.6	6	155	46.9	6	118	32.9	6	346	49.6
腎不全	7	170	24.7	9	82	24.8	8	88	24.6	7	161	23.3
自殺	8	158	22.9	8	114	34.5	12	44	12.3	9	141	20.4
アルツハイマー病	9	155	22.5	11	50	15.1	7	105	29.3	8	142	20.5
慢性閉塞性肺疾患	10	138	20.0	7	116	35.1	20	22	6.1	11	128	18.5

注：男性の10位は「肝疾患」で死亡数66・死亡率20.0である。

女性の10位は「大動脈瘤及び解離」で死亡数60・死亡率16.8である。

※女性の8位は「腎不全」と「血管性及び詳細不明の認知症」で死亡数88・死亡率24.6である。

②年齢別死因

平成 27 年の死因を性・年齢（5 歳階級）別構成割合から見ると、15～19 歳、20～49 歳の各階級で自殺の占める割合が高く、女性と比較して男性の割合が高くなっている。また、死因順位第 1 位の悪性新生物の占める割合は、男性は 35～39 歳から増加し 60～64 歳が最も高く、女性は 25～29 歳から増加し、35～39 歳の年齢階級が最も高くなっている（図 6）。

図 6－1 性・年齢（5 歳階級）別に見た主な死因の構成割合（男性）

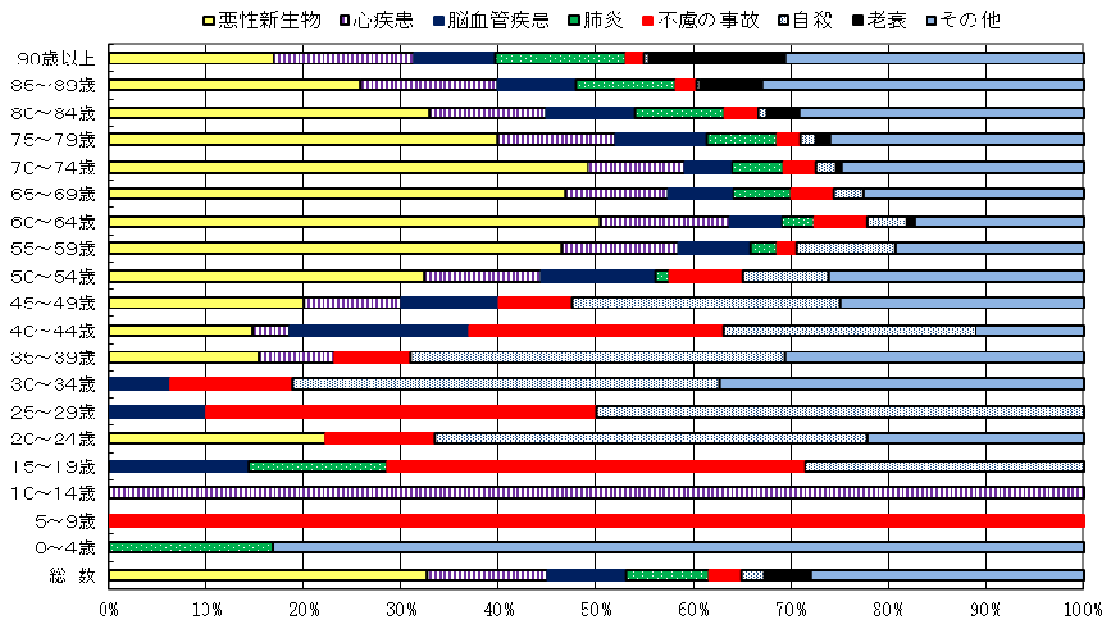
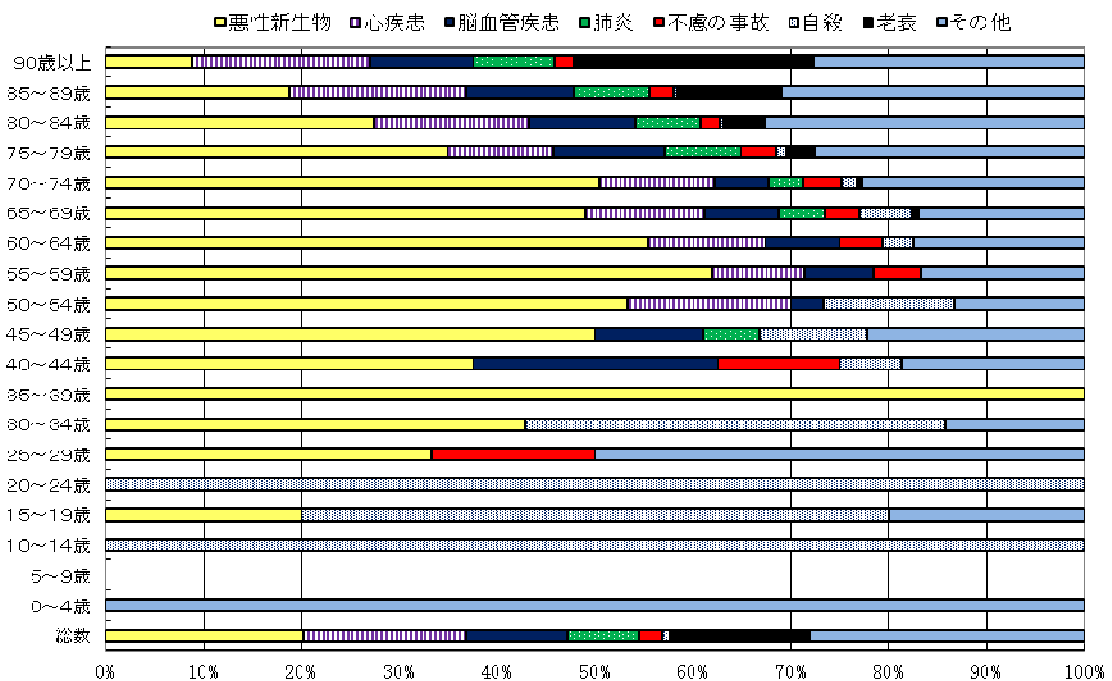


図 6－2 性・年齢（5 歳階級）別に見た主な死因の構成割合（女性）



③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率を主な部位別に見ると、男性は肺が上昇しているが、女性では、乳房と大腸が上昇し、特に乳房は死亡率で過去最高となった。(表6、図7)。

表6 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移

死亡数

性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	16	20	21	22	23	24	25	26	27
男性	胃	250	314	293	273	263	267	233	231	251	227	242	230	218	237	216
	肺	19	61	82	169	250	299	341	331	308	301	352	305	347	336	363
	肝	54	55	65	121	206	208	179	165	168	173	155	159	143	159	137
	大腸*	23	42	48	79	151	163	139	183	162	168	177	192	157	175	171
女性	胃	165	179	202	149	159	137	150	146	158	137	137	146	149	134	116
	肺	8	18	32	52	109	98	91	124	119	123	101	137	112	126	118
	肝	37	33	35	55	89	99	96	100	83	88	85	84	103	80	76
	乳房	18	16	25	28	38	43	74	60	64	65	56	62	63	67	72
	子宮	93	71	57	40	38	25	26	38	17	36	30	30	34	35	29
	大腸*	30	44	48	85	123	125	139	168	146	140	154	153	165	150	160

死亡率

性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	16	20	21	22	23	24	25	26	27
男性	胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	73.7	65.4	67.3	73.6	66.5	71.4	68.2	64.7	71.4	65.3
	肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	82.6	95.8	96.5	90.3	88.2	103.8	90.5	103.0	101.2	109.7
	肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	57.4	50.3	48.1	49.3	50.7	45.7	47.2	42.4	47.9	41.4
	大腸*	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	45.0	39.0	53.4	47.5	49.2	52.2	57.0	46.6	52.7	51.7
女性	胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	34.7	38.6	38.7	42.2	36.9	37.1	39.9	40.7	37.2	32.4
	肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	24.8	23.4	32.9	31.8	33.1	27.4	37.4	30.6	35.0	32.9
	肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	25.1	24.7	26.5	22.2	23.7	23.0	23.0	28.1	22.2	21.2
	乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	10.9	19.0	15.9	17.1	17.5	15.2	16.9	17.2	18.6	20.1
	子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	6.3	6.7	10.1	4.5	9.7	8.1	8.2	9.3	9.7	8.1
	大腸*	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	31.7	35.7	44.6	39.0	37.7	41.7	41.8	45.1	41.7	44.7

注：大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

ただし、昭和40年は十二指腸と小腸を含み、昭和50年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（男性）

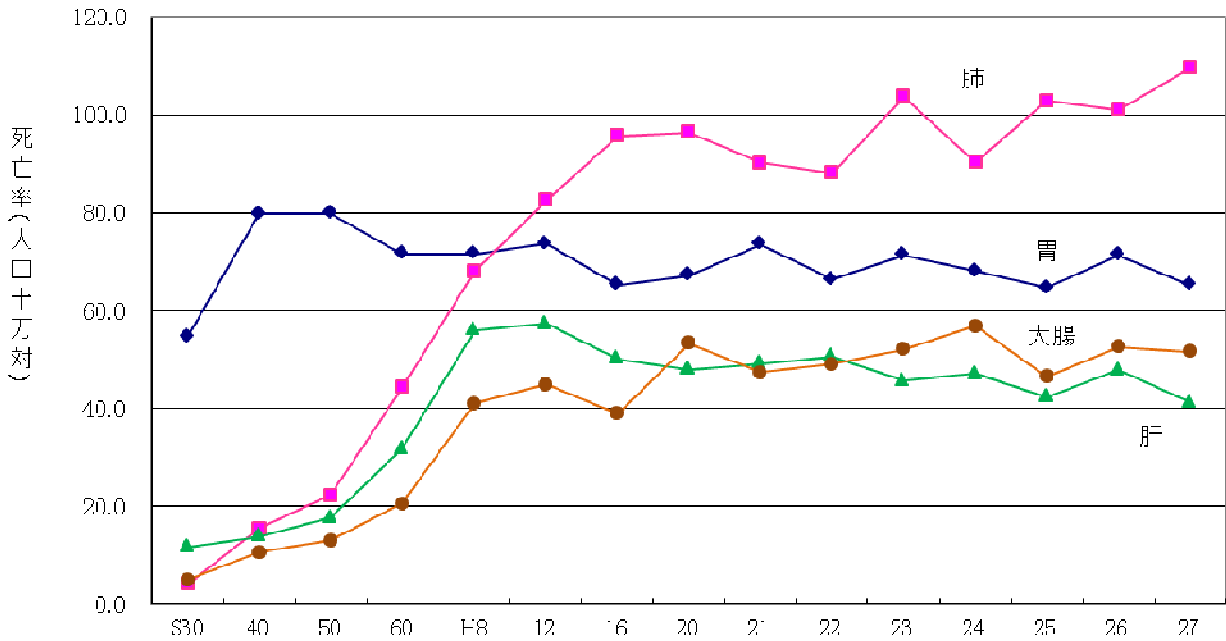


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（女性）

